

時代と人をつなぐ
スペシャリスト

税理士

大塚 文康

大塚税理士が義父の事務所を引継ぐ形でスタートした「大塚文康税理士事務所」は、税務関係だけでなく、地域の人々のさまざまな相談に幅広く応じている。顧客とは常にフィフティ・フィフティの立場で仕事を進め、強い信頼関係を築いてきた。「お客様と長いおつき合いをしていきたい」と語る大塚税理士に、女優のあいほら友子さんがインタビュー。

顧客サービスを第一に考え
信頼関係に根差した税務を行う

あいほら 税理士になろうと決心されたのはいつごろですか。

大塚 大学在学中です。それで卒業後、実家の仕事を手伝いながら大原簿記専門

学校へ通って3年間勉強しましたが、勉強時に「専門学校で講師をやらないか」という話をいただいたので、5年間専門学校で講師を務めました。その後、



あいほら 友子 (女優)

「税理士サービスと捉え、どうすればお客様に喜んでもらえるかを考えてお仕事に取り組みたい」という話をいただいたので、5年間専門学校で講師を務めました。その後、



【プロフィール】

大塚 文康（おつつか ふみやす）……岐阜県土岐郡笠原町出身。大学卒業後、大原簿記専門学校に入学。その後、専門学校講師を5年間続けるが、1995年、税理士事務所を開設して義父の仕事を手伝うために講師を辞めて事務所に入る。98年に義父が他界したので、事務所を引継ぐ形で「大塚文康税理士事務所」を開業した。

ここで税理士事務所を開設していた義父の仕事を手伝わせていただくことになり、講師を辞めて事務所に入りました。それから3年ほどは一緒に仕事をしましたが、義父が亡くなったので事務所を引継ぎ、「大塚文康税理士事務所」を始めました。

あいほら ではお客様も先代から引継がれたのですか。
大塚 はい。以前、代が変わってお客様がかなり減ったという話を聞いたこともありましたが、うちの場合は幸いにもほとんど離れないでいてくださいました。その点では、お客様に恵まれていること、先代とお客様との間に築かれていた信頼の大きさを実感しました。

フィフティ・フィフティから始まる地域とのつき合い

▼規制緩和に伴って税理士の業務は多様化し、土業の在り方も変わってきた。しかし、まだまだ依頼者から「先生」と崇められ、威圧的な態度を取る税理士は少なくない。そんな中で「税理士はサービス業」と語り、「顧客第一」「どうすればお客様に喜んでいただけるか」を常に心に念じて仕事を進めている大塚税理士。「お客様と税理士は常にフィフティ・フィフティの立場で、お互いに納得した上で仕事を始めなければいけない。その中でこそ本当の信頼関係が生まれてくる。そ

れが税理士の仕事に最も必要とされるものだ」と大塚税理士は指摘する。

▼「大塚文康税理士事務所」には、経営者のみならず高齢者や主婦などが、税務関係以外の相談によく訪れているという。それは大塚税理士と地域の人々との間に確かな信頼関係が結ばれているからである。大塚税理士はあくまでも信頼関係を大切に地域に根差して、お客様と長く付き合っている税理士事務所を目指している。

あいほら お客様が離れなかったのは、大塚先生の仕事ぶりを高く評価されたからでしょう。お仕事を進める上で心掛けておられることは何ですか。

大塚 土業に対して、威圧的・高圧的な印象をお持ちの方も多々ありますが、私は税理士はサービス業だと思っています。ですから気軽におつき合いができるような接し方を心掛け、またどうすればお客様に喜んでいただけるかということに常に考えています。

あいほら お客様と税理士の相性というの大切な点ではないですか。

大塚 そうですね。お客様にも私たちを選ん

でいただく権利があるし、逆に私たちにもお客様を選ぶ権利があると思っています。そういう点では、お互いにフィフティ・フィフティの立場でやっていかなければ、本当の意味での信頼関係は築けないでしょう。実際、この方針で来て、少しずつではありますがお客様は増えてきています。「やってやる」といった態度では、喜ばれる仕事ができるはずありません。

あいほら 時代とともに、税理士に求められるものも変化しているのではないですか。

大塚 かつては税務署に顔のきく税理士が求められていたという部分があるが、少なくとも今は違います。しかし、今はそういう時代ではありませんので、税務署はもちろん、クライアントのすべての利

害関係者に対して信頼していただけるような明確な税務を行うことが、私共の仕事だと考えているのです。となれば、お客様はすべてをオープンに相談してもらえるような関係を築くことが大切ですし、そのためには先に申ししたように、良好なコミュニケーションが肝要になります。幸い、私共はお客様との間に良い関係を築けており、また当事務所の税務スタイルもご理解を示してくださっているのでも、大変仕事はやりやすいですね。

あいほら お客様との関わりが深くになると、税務のみだけでなく、経営そのものの相談なども持ち掛けられるのではないですか。

大塚 ええ。私共はお客様の業務に対しては専門家ではありませんから、踏み込んだ意見を申し上げることは少ないのですが、外部から、または税理士面から客観的に見た意見はお話しさせていただ

いています。それがかえって当を得た意見であったりして、喜んでいただける場合もあるんです。少しでもお役に立てるならと、努めてお客様の仕事について勉強するようにしています。

また当事務所には、税務にこだわらず、いろいろな方が、さまざまな相談に見舞われることも多々あります。私に答えられることは答えますし、管轄外の相談の場合は専門家を紹介して差し上げたりしています。いわば相談窓口になっているんですよ（笑）。

あいほら 地域の人々から信頼されている証拠ですね。今後の夢のひとつに？
大塚 今のところは現状維持で精一杯ですが、とにかくお客様のサービスを大事にして、長く付き合っていけるような仕事をしたいと思っています。
あいほら そうです。ご連絡ください。本日はありがとうございました。



大塚文康税理士事務所

愛知県一宮市栄3丁目1番1号 JR 駅ビル202号
TEL 0586-72-2514 FAX 0586-72-2908